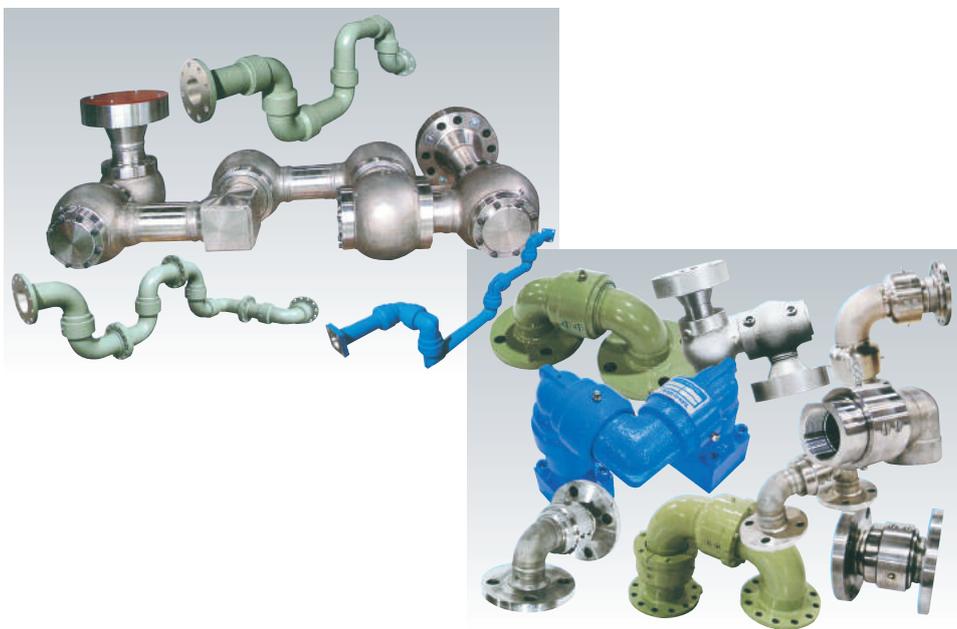


Takeda Works 株式会社

機械工学の粋を集めた ロータリージョイント

海外発注可
企画力自信有
オンライン技術
試作可小ロット



スイベルジョイント

業務内容
独自の高い回転可動
屈折管継ぎ手を展開

回転可動屈折管継手の総合メーカー。食品・医薬分野や化学、鉄鋼プラントなどで使用されるロータリージョイントとスイベルジョイントのほか、流体を船舶などから荷揚げするローディングアーム、フローティングサクシオンなどが主力製品。設計・製造だけでなく、修理やメンテナンスなどで手厚いアフターサービス体制を構築するなど、ユーザー視点の事業展開を特徴としている。わずかな漏れも許されず、かつ洗浄のしやすさなどの付加価値が求められる医薬・食品分野において、Takeda Worksのロータリージョイントは常にトップシェアを維持している。

強み
設計開発力で
顧客ニーズを実現

原正社長が「機械工学の粋を集めた」という無菌充填機用ロータリージョイントでは他社の追随を許さない。高いシール性能だけでなく、液漏れを防ぐメカニカルシール部の洗浄ラインを給液ラインと完全分離した独自設計である。また平成24年にはタンデム式メカニカルシールを独自開発し、一台で液体とガスを交互に供給したり、混合供給可能な無菌充填機用ロー



一台でガスと液体が供給できる
無菌充填機用ロータリージョイント

タリージョイントも開発した。生産ラインをシンプルな構成にできる製品として評価されている。

設計力
独自の設計基準書と品質
管理規定で製品開発

流体の種類や圧力、温度によって回転可動屈折管継手の素材や構造は異なる。原社長の「シールのR形状の角度が少し違えば性能が変わる」という精緻な設計を支えているのは蓄積されたノウハウで、門外不出の設計基準書「タケダ・デザイン・スタンダード（通称TDS）」と、品質管理規定「タケダ・クオリティー・コントロール・マネジメント（通称TQCM）」の2つがある。「顧客から受ける要望を満たす設計はほとんどTDSの中にある」とし、独自に編み出した設計合理性と、ISOやHACCPを凌駕する厳しい品質管理手法で食の安全安心に貢献している。

今後の展望
製造とサービスの
グローバル化を加速

現在、中国2カ所、韓国1カ所に工場を持ち、染色機や印刷機、ゴム混練機など産業機械用の回転可動屈折管継手の製造とサービスをグローバル化している。さらに、食品・医薬分野の高機能製品も需要が高まり納入実績が増えつつあることから、中国山東省の工場に医薬・食品向け製品のオーバホールができる新棟を建設し平成26年春に稼働する予定。税関や海上輸送に日数を要する現状に比べ、現地ユーザーのラインの停止期間が大幅に短縮し、生産性が向上できるようにする。

COMPANY PROFILE Takeda Works 株式会社

大阪25

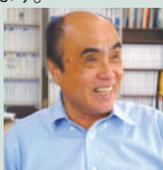
ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

昭和23年に日本で初めてメカニカルシールによるロータリージョイントを設計開発したのは、株式会社武田製作所（東京都北区）と本年創業100周年を迎えた株式会社増野製作所（東京都荒川区）。当社は両社の技術を注入し特殊ロータリージョイント部門を分社化した企業です。先人の技術に、革新的な技術を重ね続け常に進化することを目指しています。

パイオニア精神が育てた高品質高設計ノウハウが、顧客の高度な要求を満たします。

代表取締役 原正和さん



■主な事業内容

回転可動屈折管継手の設計、研究開発、製造販売、修理、メンテナンス

■主な取引先（納入先）

食品機械、薬品、医療、環境、製鉄、化学、素材、繊維等

住所 / 〒571-0017
門真市四宮
5-1-1

TEL / 072-882-8833
FAX / 072-882-8836

創業 / 平成21年7月
設立 / 平成21年6月
資本金 / 2,100万円
従業員 / 10名

<http://www.takedaworks.co.jp/>